



若 あ ゆ



## 凡事徹底と率先垂範で、次への一歩を

校 長 米原 大司

暦の上では立春を迎えますが、これからが本格的な寒さになります。2学期はインフルエンザ A 型が猛威を振るいましたが、3学期はインフルエンザ B 型が流行し始めております。御家庭におきましても手洗いやうがい、規則正しい生活を心がけ、健康管理に十分御留意ください。

2月は、一年間の学習や生活を振り返り、次の学年、次のステージへとつなげていく大切な時期です。本校では、学校のテーマとして「凡事徹底」と「率先垂範」を教育活動の柱とし、日々の学校生活を大切に積み重ねてきました。

「凡事徹底」とは、特別なことではなく、あいさつをする、時間を守る、話をしっかり聞く、学習の準備を整えるといった、当たり前のことを当たり前に行い続ける姿勢です。当たり前のことなので、誰でもできるはずなのですが、学校生活の様子を見ると、当たり前に行うことの大変さを感じております。例えば、あいさつ一つをとっても、気持ちのよい声で爽やかにあいさつできる子もいれば、視線が合わずに小さな声であいさつする子や声を出さずに会釈だけの子など様々です。誰もができるであろうあいさつをはじめ、当たり前のことがさり気なくできる子どもたちとなるよう引き続き指導してまいります。

また、「率先垂範」とは、自らが進んで行動する姿を通して、周囲によい影響を与えることです。特に6年生は、委員会活動やクラブ活動をはじめ、日常生活の中で下級生の手本となり、学校全体を支える存在として活躍してきました。あと2カ月で卒業ですので、よい伝統が在校生に引き継がれるよう、最高学年の6年生とそれを引き継ぐ5年生には、学校のリーダーとしてのさらなる自覚を望みます。特にこれから行われる6年生ありがとう会や様々な引継の行事を通して、6年生には小学校をしっかりと締めくくる立派な姿を見せてほしいし、5年生には最高学年となる心の準備を進めてほしいと思います。

1年生から4年生にとっても、進級を意識し始めるこの時期は、自分の行動を見つめ直すよい機会です。学校では、学習面や生活面のまとめを丁寧に行い、「できるようになったこと」や「これからの課題」に気付かせながら、次の学年につなげていきます。

一日一日を大切に積み重ねることが、子どもたちの確かな成長につながります。教職員一同、凡事を徹底し、率先して行動する姿を示しながら、子どもたちが安心して学年の締めくくりを迎えられるよう、全力で取り組んでまいります。今後とも、本校教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。